

今日のトピック IMFは世界経済見通しを+4.4%に下方修正 今後はインフレの鎮静化に注目

ポイント1 2022年の世界経済見通しは+4.4%に下方修正

- 国際通貨基金（IMF）は25日、最新の世界経済見通しを発表し、2022年の世界の実質GDP成長率を前年比+4.4%と、前回10月から0.5ポイント下方修正しました。内訳では、大型財政法案の成立見込みが下がった米国や、新型コロナウイルスの感染拡大により行動制限が課せられている中国、欧州などで幅広く成長率見通しが引き下げられています。

ポイント2 引き続きインフレがリスク要因

【IMF世界経済見通し】 (%)

- 2023年の世界経済見通しは前年比+3.8%と0.2ポイント上方修正されました。ただ、2021年の+5.9%、2022年の+4.4%からは減速する見込みで、経済活動の再開一巡により徐々に巡航ペースへと移行する見通しとなっています。
- IMFは、高インフレが前回の予想よりも長引いているとし、先進国による金融引き締めが新興国の資金フローや通貨、財政に及ぼすリスクについて指摘しています。
- その他のリスクとして、新型コロナウイルスの新たな変異型が出現した場合の経済のさらなる混乱や、地政学的な緊張、気候変動による大規模な自然災害を挙げています。

年		2021	2022	2023	前回見通しからの変化	
			(予)	(予)	2022	2023
世界GDP	世界GDP	5.9	4.4	3.8	▲ 0.5	0.2
	先進国	5.0	3.9	2.6	▲ 0.6	0.4
	米国	5.6	4.0	2.6	▲ 1.2	0.4
	ユーロ圏	5.2	3.9	2.5	▲ 0.4	0.5
	ドイツ	2.7	3.8	2.5	▲ 0.8	0.9
	フランス	6.7	3.5	1.8	▲ 0.4	0.0
	イタリア	6.2	3.8	2.2	▲ 0.4	0.6
	日本	1.6	3.3	1.8	0.1	0.4
	英国	7.2	4.7	2.3	▲ 0.3	0.4
	オーストラリア	4.2	4.1	2.5	0.0	▲ 0.1
	新興国	6.5	4.8	4.7	▲ 0.3	0.1
	中国	8.1	4.8	5.2	▲ 0.8	▲ 0.1
	インド	9.0	9.0	7.1	0.5	0.5
	ASEAN5	3.1	5.6	6.0	▲ 0.2	0.0
ロシア	4.5	2.8	2.1	▲ 0.1	0.1	
ブラジル	4.7	0.3	1.6	▲ 1.2	▲ 0.4	
メキシコ	5.3	2.8	2.7	▲ 1.2	0.5	
CPI						
	先進国	3.1	3.9	2.1	1.6	0.2
	新興国	5.7	5.9	4.7	1.0	0.4

今後の展開 インフレの鎮静化に注目

(注) データは2021~2023年、IMF予測。ASEAN5はインドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム。

(出所) IMFのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

- 今回の世界経済見通しでは、2022年、2023年ともに堅調な成長が続く見通しが示されました。IMFはインフレの上振れリスクを指摘しながらも徐々に鎮静化する予想を維持しており、今後もインフレの動向に注目が集まります。

ここも
チェック!

2022年1月25日 2022年2月の注目イベント
2022年1月12日 主要な資産の利回り比較（2021年12月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。